

自転車レーンの気付き他

2017年4月17日 三浦泉彦

- ・自転車レーンの利用者が定着しているように感じます。
- ・年齢層は様々ですが利用者割合に対して高校生が一番低いように感じます。
- ・立哨中の先生にも声をかけ見ましたが自転車レーンの走行に対してあまり乗り気ではありません。
自転車レーンの走行を強制できないという発言がいろいろな学校から帰って来ます。
そして歩道走行の場合の制限については無知でした。
歩道走行の場合は徐行、歩行者優先で安全確保のために止まることもあるといった指導をするように訴えました。
- ・自転車レーンの水たまり対策が全く進んでいません。雨の日はもちろん、雨上がり後もしばらく残ります。特に下り線が顕著で自転車レーンいっぱい広がっている部分もあります。
- ・自動車の白線進入も目に余ることがあります。
先日、パトカーが白線を踏みながら走っていたので宇部署に抗議に行きました。
- ・神原交差点前でレーンが終わるのでその手前で歩道に上がる自転車が多く神原交差点にナビマークをその先のレーン整備が急がれます。
- ・自転車レーンの逆送を頻繁に見かけます。すれ違う時は止めて注意していますが遠くの方だとできません。
- ・レーン区間に2か所の押しボタン信号機がありますが歩道側に信号機があるのは神原中学前の上り線のみです。車道赤で止まっているとその横を安全確認なしで歩道を自転車が通り抜けていきます。とても危険だと思います。(特にサンライフ前の信号) 神原中学前は歩道信号赤で車道側に向きを変え反対車線に行きそのまま歩道信号のない側を通り抜けるといった事例をよく見ます。
- ・自転車レーンを走っている自転車が信号無視をしていることも頻繁に見かけます。
- ・昨年私が車道走行中に後ろから来た車に追突されけがをしてその示談のため、今日保険屋さんが来ました。そして自転車走行の安全について話したのですが近頃は自転車の事故が増えていることを話されていました。最も多いのが出会い頭の事故だそうです。左走行でかなりの事故は減らせそうです。歩行者との事故は保険に入っていないければ賄えないので正確な数の把握はできていませんが増えているようです。自動車保険で自転車の特約を付けられるのもっと訴えていかなければいけないとおっしゃっていました。
自動車と自転車が信号のある交差点で信号無視をした自転車が出会い頭の事故を起こしたそうですが過失割合が自転車 8、自動車 2、だったそうです。普通はこのようなケースでは自動車側が不利だそうですがその車はドライブレコーダを付けていたのでこのような過失割合になったそうです。
かなり自転車が加害者になっていると考えられます。
私の去年の事故はドライバーが自転車が車道を走っているのがおかしいと話していたらしく、保険屋さんの方が違いますよと説明したそうで、ドライバーへの徹底は引き続き行う必要がありますが自転車側のルールやマナーの規範意識は現状低いと感じています。
- ・自転車のルールやマナーの向上が欠かせません。
- ・宇部自転車レーン 2周年で宇部日報が自転車マナーアップのため特集記事を書いてくれないかと思えます。警察やマスコミがもっと積極的にならなくては何も変わらないように思います。

長々と綴りましたがこれらが私の感想と意見です。